

＜先週の説教から＞

『ペンテコステ礼拝・ルカ⑫』

主の誕生から始まり』 武田 真治 牧師

ミカ書 5：1-4 ルカ福音書 2：1-7

「ペンテコステ(50番目という意味)」は、もともとはユダヤ教の3大祝祭の一つで「七週の祭り(シャブオット)」です。このエルサレム神殿で行われる祭りに向けて、各地から巡礼者が集まっていたのでした。それに対して、イエス様に従おうとしていた人達は、エルサレム神殿ではなく、イエス様と最後の晩餐を持った広間に集まっていたのでした。そこに「聖霊が降り」この人たちこそ、新しい「主イエスに従う群れ」と祝福を受けたのでした。これが《教会の誕生》です。以来、ペンテコステは教会のお誕生日となったのでした。考えてみれば、キリスト教の3大祝祭は、すべて「誕生」に関係しています。イースターも新しい命の誕生ですからこの日に洗礼を受けます(故に、信仰者の誕生日とも言えます)。

イエス様が「バツレヘム(パンの家という意味)」でお生まれになったことは、旧約聖書の預言通りで、マタイもルカも共に報告しています。しかし、そのことは逆に、どうして身重のマリアさんがナザレから旅をしてバツレヘムに向かわれたのだろうかと思ひます。ルカ福音書は、それは「皇帝アウグストゥスから全領土の住民に登録をせよ」というローマ命令による人口調査があったので、逆らうことが出来ずに二人の血筋であるユダヤの地に行ったのだろうと。日本で言えば本家に戻って「登録」をしたということでしょう。

ただ昔から、エルサレムに本家があり、そこに向かう途中にバツレヘムで出産したと考えられて、故に「宿屋」のしか「馬小屋」でイエス様はお生まれになったと言われて来ましたが。ただ、聖書をそのまま読むと、その本家がバツレヘムにあったということだと。ただし、その家はそれ程、裕福な大きな家ではなく、彼らに対する「部屋(=宿屋と訳され

ているカタルーマという言葉は他の箇所では「部屋」と訳されています。『良きサマリア人のたとえ』に出て来る宿屋はパンドケインです)が用意できず(他にも親戚たちが泊っていたのかもしれませんが)、更には出産には当ても水場を必要としたので土間のような場所(=当時、普通の家では家畜もひと続きの家の中で暮らしていました。盗まれないためにも)に移ったのでしょう。その結果、生まれた赤ちゃんを「飼葉桶」に寝かせたということです。決して、意地悪をされたり、不遇な状態ではありませんが、それでも宮廷や豪華な家でお生まれにはならなかったのですね。

\*\*\*\*\*

【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 休会  
祈祷主題： 教区総会を覚えて  
\*ひつじ雲の会 5月28日(火) 13:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男24 女55 計79  
祈祷会 I. 男7 女2 計9 II. 男1 女9 計10  
日曜学校 幼稚科8 小中科9 計17

\*\*\*\*\*

【次週主日礼拝】 6月2日(日)

聖書： 創世記 46：28~34  
ルカによる福音書 2：8~14  
説教：「ルカ⑬ — 羊飼いの羊飼いよ！」  
武田 真治 牧師

讃美歌： 113(1)、32、257、201、97、  
【次週当番表】 75(1~2)、29(1)

司式：金刺長老 奏楽：中村 礼拝：保坂長老  
配餐：羽倉 保坂 相 飯田 各長老  
献金：木村 黒川 受付：西尾 森本  
会堂準備：浅井 阿部 齋藤 山田  
看板：保坂 週報：岩佐 お花：森本

【次週集会予定】

礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会  
礼拝後：・会堂管理委員会 ・長老会 ・お茶の会  
・牧師と語る会

# 週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 5月 26日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>